

【概要】

本市は、キリスト教王国を目指した大友宗麟ゆかりの地である。本市の中世の歴史は宗麟の生きた時代に残された文化財からうかがうことができる。没後 400 年以上たった今も「宗麟ユートピア構想」が策定されるなど、その存在は、本市に大きな影響を与えている。

本市は、戦国時代の武将大友宗麟の終焉の地として知られる。

中田引地の天徳寺の森に建つ大友宗麟公墓（市指定史跡）は、今から 200 年余り前の寛政年間（1789～1801）、旧家臣の末裔臼杵城豊によって改葬されたものである。

津久見に移り住む前の宗麟は丹生島城（臼杵市）を拠点とし、晩年は自分の隠居の地の城とした。

天正 6 年（1578）宗麟は、姻族伊東氏の旧領を奪還する目的で日向に出撃するが、この時、自身はキリスト教に入信し教名をドン・フランシスコと名乗り、日向出兵の真の目的は、日向務志賀（宮崎県延岡市）に理想のキリスト教王国を作ることであったといわれている。

しかし、島津軍に敗れ、豊後に敗走するが、この時、本拠地である臼杵に帰らずに津久見に立ち寄った。これが宗麟と津久見との関係の始まりとされる。

天正 10 年（1582）、息子義統から津久見の地を譲り受け、自身が安静できる理想郷としてこの地に最後の場所を作ろうとした。津久見に移り住んだ宗麟は、キリスト教王国の建設という夢の実現に奔走したことが知られる。

宗麟の生きた時代は、鉄砲の伝来（天文 12 年（1543 年））、フランシスコ・ザビエルによりキリスト教がわが国に伝えられ（天文 18 年（1549 年））広まった時期で、以後、ヨーロッパから来た商人や宣教師たちが布教のため持ち込んだ品々や文化は、またたく間に広まり、当時の武将はその進んだ文化に興味を示し、盛んに取り入れた。宗麟もそうした武将の一人であった。

16 世紀後半から 17 世紀初めに隆盛したこうした品々や文化は、南蛮文化、キリシタン文化とも呼ばれた。安土桃山時代から江戸時代初期（寛永 16 年（1639）の鎖国の完成）までの時期は、わが国の歴史文化史上最も華やかな時代で活気にあふれた時代といわれた。「豊後府内に華開いた南蛮文化」や「フランシスコ・ザビエル」の名は、この時代を表す言葉として今でもよく使われ、馴染み深いものである。

本市は、キリスト教王国の建設を目指した宗麟のゆかりの地として、そうした華やかな文化を今に伝える南蛮美術の数々を所蔵する。これらは、本市が 10 年余りの歳月を費やして収集・製作した資料で、南蛮屏風と洋風画、南蛮趣味の工芸品、鉄砲、キリシタン関係資料、輸出漆器類、大航海時代の日本を描いた世界地図、文書類等広範囲にわたり、総数 72 件を数える。これらの資料は、豊後に直接由来するものではないが、その一つ一つが当時の南蛮文化を今に伝えるものとして、その時代の歴史や文化を概観することができる。

一方、中世の本市は臼杵荘に所属し、大友氏の直轄地であった。宗麟の時代までの歴史を見ると姫岳合戦（永享 7 年（1435））や津久見合戦、薬師寺一族をはじめとする郷土武士団の名前や活躍を知ることができる史料も含まれる。なお、宗麟が移り住んだ大友氏別館や、津久見要害、二重城、彦岳城、久保泊城等の館城・城跡等も確認（第 2 章第 2 節表 8 参照）されており、特に、

津久見要害や久保泊城は天正14年（1586）島津軍の豊後侵攻の際に、実際に戦いが繰り広げられた場所でもあった。

島津軍の侵攻に際して、津久見地域、青江川沿いから津久見峠にかけて激しい戦闘が行われた。近世臼杵藩稲葉家に伝わった絵図「御領分臼杵図」（臼杵市教育委員会蔵）に、この時の激戦地が記されており、古陣所や物見山、砦・付城要地等で大勝負や小競り合いが、津久見と青江を隔てた山の稜線一帯で行われたことが知られる。その中で、津久見川左岸の丘陵上に描かれている古陣所は薬師寺文書に出てくる津久見要害の可能性が高く、本来は津久見氏の詰城とされていた。その津久見要害は、解脱閣寺（井無田町）正面の山の稜線にあり、現在も堀切が残る。

四浦半島では「四浦衆」（鳩の浦の鳩氏、久保泊・深浦の加島氏、越智ノ浦の紀氏）と呼ばれる武士団が活動していた。天正14年（1586）に島津軍が海路侵攻してきた際に、津久見四浦合戦が起きた。その時、海岸方面から攻めてきた島津軍に対し、久保泊城から鉄砲で応戦したといわれる。久保泊城跡には堀切や曲輪が良好な状態で残されており、自然の地形をうまく利用した縄張りが見て取れる。また、鳩浦堂山はじめ四浦半島には、四浦衆に関係する武士たちのものと思われる五輪塔が数多く確認されている。その他、中世の石造物として、市内に61か所、487個体が報告（『大分県の中世石造遺物 第5集総括編』（大分県教育庁埋蔵文化財センター2016年度））されており、市内のほぼ全域に残っている。種類としては五輪塔、宝篋印塔、宝塔、板碑、無縫塔、石幢等が見られるが、圧倒的に多いのが五輪塔（残欠含む）である。

姫岳合戦に参戦し戦死した河野通久の供養塔（村上神社宝篋印塔（文安6年（1449））や道尾石幢（文明9年（1477））、長幸無縫塔2基（天正3年（1575）・天正6年（1578））はその代表例である。また無銘ではあるが、千怒鍛冶屋塔ノ本宝篋印塔、井無田宝篋印塔、世尊寺五重塔、薬師寺一族の先祖墓（宝篋印塔・徳浦）は地域の有力な武士団の存在を伝え、その他にも川内石幢、蔵富石幢等数多く残っており、地域の歴史を伝える文化財として貴重なものである。

大友宗麟公墓も、時代が移り変わる中、幾度となく堂宇を建て替えられた。昭和52年（1977）、「大友宗麟公顕彰会」が結成され、建築家磯崎新の設計のもと、キリスト教式の墓碑を並べ、今日見られるような墓地に生まれ変わった。

このように本市の中世の歴史は宗麟の生きた時代に残された文化財からうかがうことができる。没後400年以上たった今も「宗麟ユートピア構想」が策定されるなど、本市に大きな影響を与えている。



千怒鍛冶屋塔ノ本宝篋印塔



長目浦代宝篋印塔



吉岡妙林尼墓（中田引地）



井無田宝篋印塔



川内石幢（上青江川内）



鳩浦堂山五輪塔群



大友氏別館跡（大友町）



津久見古陣跡（津久見要害）



（津久見川河口から見た）  
津久見古陣跡（津久見要害）



大友宗麟公銅像  
（津久見駅前）



長泉寺（上宮本町）



天徳寺の森（中田引地）



蒔絵螺鈿花鳥文大洋櫃



蒔絵螺鈿花鳥文洋櫃



蒔絵螺鈿花卉文小洋櫃



蒔絵螺鈿花鳥文書筆筒



蒔絵螺鈿花鳥文窓絵筆筒



蒔絵螺鈿花鳥文筆筒



蒔絵螺鈿鮫皮貼社殿に花鳥文櫃



蒔絵螺鈿花樹鳥獸文箱



蒔絵鮫皮貼花鳥文小箱



蒔絵南蛮人双鶏硯箱



象嵌南蛮人文鐙



南蛮船文鐙



蒔絵カルタ文印籠・蒔絵旗文根付



V. O. Cマーク入り  
小型鑑載砲



テイセラ「日本図」



読書する修道士のいる  
西洋風俗図



蒔絵螺鈿聖者像聖龕  
(太平洋セメント株式会社所蔵・津久見市寄託)



南蛮人遊樂図屏風（太平洋セメント株式会社所蔵・津久見市寄託）



航路図屏風（右隻）



航路図屏風（左隻）

構成文化財一覧

番号	名称	類型	指定等
1	大友宗麟公銅像	有形文化財（美術工芸品（彫刻））	未指定
2	解脱閣寺文書	有形文化財（美術工芸品（古文書））	市指定
3	薬師寺文書	有形文化財（美術工芸品（古文書））	未指定
4	長幸無縫塔	有形文化財（石造物）	県指定
5	道尾石幢	有形文化財（石造物）	市指定
6	世尊寺五重塔	有形文化財（石造物）	市指定
7	井無田宝篋印塔	有形文化財（石造物）	未指定
8	千怒鍛冶屋石幢	有形文化財（石造物）	未指定
9	千怒鍛冶屋塔ノ本宝篋印塔	有形文化財（石造物）	未指定
10	村上神社宝篋印塔	有形文化財（石造物）	市指定
11	夕顔之塔	有形文化財（石造物）	未指定
12	二村家五輪塔群	有形文化財（石造物）	未指定
13	辨治谷五輪塔群	有形文化財（石造物）	未指定
14	川内石幢	有形文化財（石造物）	市指定
15	長目浦代宝篋印塔	有形文化財（石造物）	未指定
16	長目浦代観音堂五輪塔群	有形文化財（石造物）	未指定
17	長目浦代五輪塔群	有形文化財（石造物）	未指定
18	薬師寺家先祖墓	有形文化財（石造物）	未指定
19	田平五輪塔群	有形文化財（石造物）	未指定

番号	名称	類型	指定等
20	釈法(じゃくろう)様	有形文化財(石造物)	未指定
21	網代幸月寺跡五輪塔群	有形文化財(石造物)	未指定
22	鳩浦堂山五輪塔群	有形文化財(石造物)	未指定
23	久保泊石幢	有形文化財(石造物)	市指定
24	深良津五輪塔群	有形文化財(石造物)	未指定
25	友秋義秀公他二十六人之碑	有形文化財(石造物)	未指定
26	田ノ浦恵比寿堂石塔群	有形文化財(石造物)	未指定
27	摺木観音堂五輪塔群	有形文化財(石造物)	未指定
28	海徳寺石幢	有形文化財(石造物)	未指定
29	吉岡妙林尼墓	有形文化財(石造物)	未指定
30	読書する修道士のいる西洋風俗図	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
31	織部煙管	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
32	織部幾何文向付	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
33	象嵌十字文茶碗	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
34	象嵌十字文俵型鉢	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
35	象嵌南蛮人文鏡	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
36	蒔絵南蛮人双鶏碗箱	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
37	蒔絵南蛮唐草交椅	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
38	蒔絵カルタ文印籠・蒔絵旗文根付	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
39	蒔絵螺鈿FRCO合字紋洋犬火薬入	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
40	十字紋菱形火薬入	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
41	南蛮船文鐺	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
42	洋風文字龍文鐺	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
43	十字透かし鐺	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
44	変わり透かし鐺	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
45	刀剣付属品類	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
46	V. O. Cマーク入り小型鑑載砲	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
47	1577-1601年イエズス会士日本・インド及び東方通信集成	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
48	蒔絵螺鈿花鳥文書箆筍	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
49	蒔絵螺鈿花鳥文筆筍	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
50	蒔絵螺鈿花鳥文窓絵箆筍	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
51	蒔絵螺鈿花鳥文大洋櫃	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
52	蒔絵螺鈿花鳥文洋櫃	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
53	蒔絵螺鈿花弁文小洋櫃	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
54	蒔絵螺鈿鮫皮貼社殿に花鳥文櫃	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
55	蒔絵螺鈿花樹鳥獸文箱	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
56	蒔絵鮫皮貼花鳥文小箱	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
57	ブトレマイオス「東アジア図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
58	オルテリウス「アジア図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
59	オルテリウス「東インド諸島図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
60	オルテリウス「タルタリア図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
61	オルテリウス「太平洋図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
62	テイセラ「日本図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
63	メルカトル「アジア図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
64	ヤンソン「日本・エゾ図」	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
65	航路図屏風	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
66	南蛮人遊樂図屏風	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
67	蒔絵螺鈿聖者像聖龕	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	市指定
68	大友宗麟画像(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
69	大友府蘭(義鎮・宗麟)書状(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
70	鐵放薬之方並調合次第(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
71	聖フランシスコ・ザヴィエル像(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
72	蒔絵フランシスコ合字紋入鞍(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
73	国崩石火矢集(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
74	仏狼機砲(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
75	天正遣欧使節肖像(複製)	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	未指定
76	大友宗麟公墓	記念物(遺跡)	市指定
77	天徳寺の森	記念物(遺跡)	未指定
78	門前遺跡	記念物(遺跡)	未指定
79	志手町遺跡	記念物(遺跡)	未指定
80	姫岳城跡	記念物(遺跡)	未指定

番号	名称	類型	指定等
81	河野通久陣野跡	記念物 (遺跡)	未指定
82	大友氏別館跡	記念物 (遺跡)	未指定
83	津久見古陣跡 (津久見要害)	記念物 (遺跡)	未指定
84	津久見物見山跡	記念物 (遺跡)	未指定
85	二重城跡	記念物 (遺跡)	未指定
86	彦岳城跡	記念物 (遺跡)	未指定
87	久保泊城跡	記念物 (遺跡)	未指定
88	解脱閣寺	由緒地 (寺院)	未指定
89	長泉寺	由緒地 (寺院)	未指定
90	赤八幡神社	由緒地 (神社)	未指定
91	則近天神	由緒地 (神社)	未指定
92	御領分白杵園	有形文化財 (美術工芸品 (歴史資料))	その他
93	当家中作法日記	有形文化財 (美術工芸品 (歴史資料))	その他

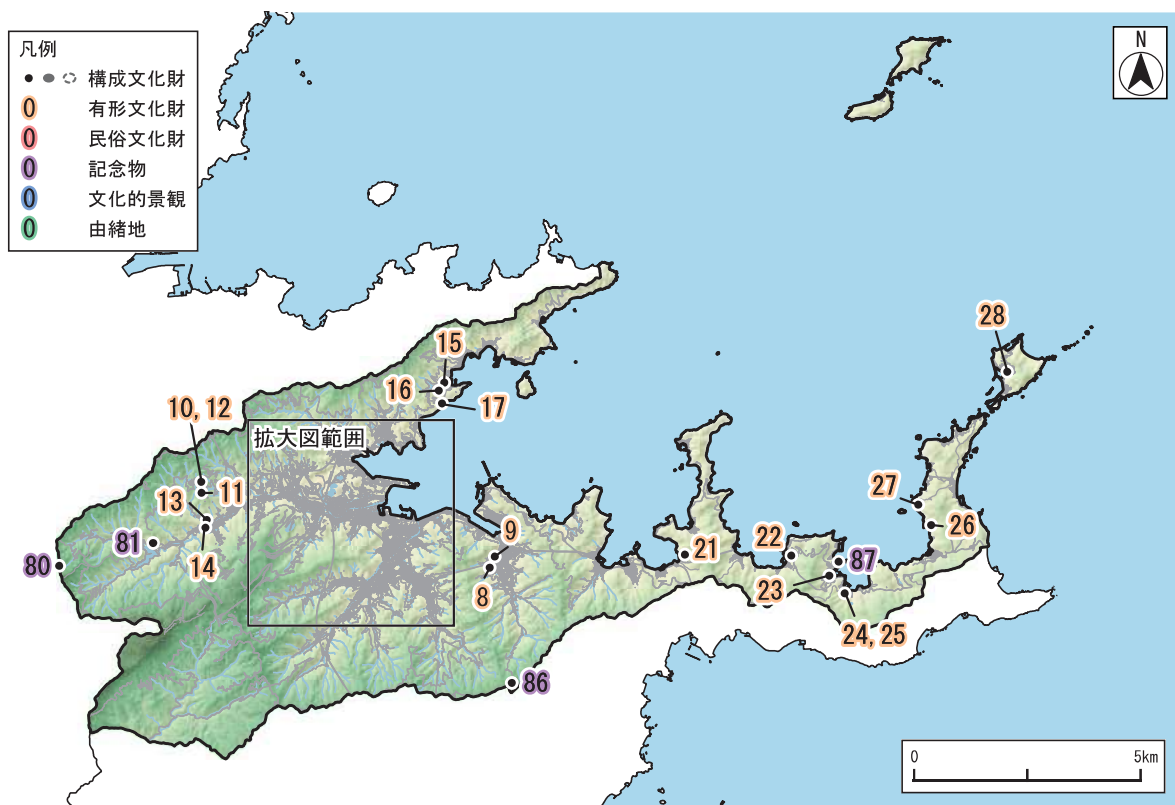


図 31 関連文化財群 4 の構成文化財分布図

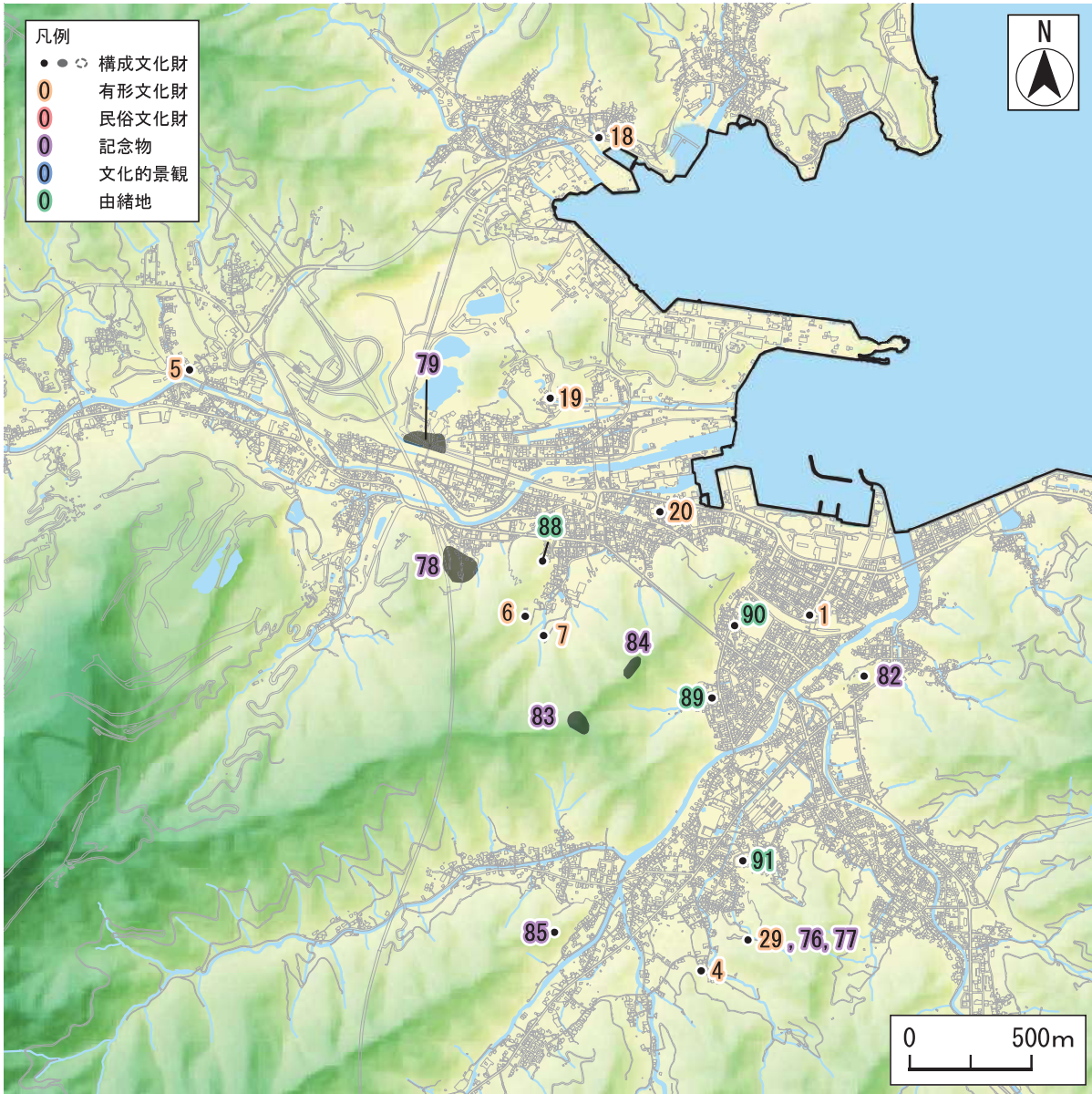


図 32 関連文化財群 4 の構成文化財分布図（拡大版）

※塗りつぶしは、遺跡分布範囲